
IS 転生者の軌跡

雪丸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS 転生者の軌跡

【Nコード】

N3764BA

【作者名】

雪丸

【あらすじ】

神様の部下のミスで短い人生を終えてしまった少年「神楽 湊」
彼は、神様の提案でISの世界に行くことに……。織斑一夏やその仲間たちと一緒に楽しく生活していく……。しかしその平穏ながらも楽しい日々を脅かす黒い影が少しずつ彼らに迫っていく。湊たちはその黒い影に立ち向かうことを要されるようになっていく……。湊たちの運命は？そして黒い影の正体とは？

第1話プロローグは突然に

「ここは・・・」

気がつくとも俺は見知らない空間にいた。周りを見渡すが辺り一面真っ白で何も無い・・・ここはどこなんだろう・・・

「ここは死者が行き着く最後の場所じゃ」

「誰だ貴方は？・・・それに死者って俺は死んだのか？」

「俺はオヌシ等の言う髪と呼ばれる存在じゃ。それとオヌシの思っているとおりのオヌシは死んでおる。」

やっぱり死んでいるのかよ・・・ああ結構やり残したことばかりなのに。こんな時に後悔ばかりなんて何か嫌だなあ

「・・・」

「実はな君に少し用があったの」

「？用？何の」

「スマンかったッ!!」

神様は、いきなり土下座をしてきた。ッてはあああああ!?

「えッ!?!ちよっ頭上げてくださいッ」

「そもいかなのじゃッ！！儂の部下の天使がミスさえしなければオヌシは死ぬことはなかつたんじゃ」

「だとしても貴方が謝ることじゃないでしょう!？」

「部下の責任は上司の責任じゃ」

この神様部下の責任も自分の責任とかんじているんだな。．．．ここまでされると許すしかないじゃないか神様の部下のことも。

「．．．いいですよもう住んだことですし」

「スマン。．．．このお詫びとしてオヌシを転生させようと思って
いるのじゃが．．．どうじゃ?」

「本当ですかッ!？」

「うむ。それとオヌシの願いを3つまで叶えてやるっ」

おおッ!! 気前がいいぞこの神様。．．．正直ここまでされるとこ
つちがなんか罪悪感感じるんだけど．．．まあいいか。

「んじゃその前に行く世界のこと教えてくれない?」

「勿論じゃ。オヌシが行ける世界は、ISの世界、リリカルなのは
の世界それと緋弾のアリアの世界じゃ。どれがいいかの?」

「んーじゃ、ISの世界で」

「結構即答じやのう。いいのかな？」

「ん。言われた世界の中で一番好きなのがISの世界だから。」

まあ、本当はほかの世界に比べて死ぬ確率が一応低そうかと思ってたからだけど。一番好きってのは本心だけどね。

「分かったのじゃ。では願いは？」

「まずは、あいえずに乗れること。」

「まあそれがないとつまらんからのう。」

「それと身体能力が千冬さんより少し下」

「最強じゃなくていいのかな？」

「ん。あんまり強すぎると目を付けられやすいから。」

政府に狙われるなんてとんでもないし、めんどくさいことありゃしないからな。

「それでも十分目を付けられそうじゃがの」

「いいっての。それと、最後はISはスパロボの機体で、ファーストシフト一次移行はエクスバインがいい」

「ふむ。以上かの？」

「おう。よろしく頼むよ」

「じゃ、始めるかの。」

神様が、俺の効いたことのない言葉を唱える。すると俺の体が光に包まれ、この空間一杯に広がると光は俺の中に消えてくのように無くなった。

「……これで終わり？」

「うむ。後は、ISの世界に行くだけじゃが……気をつけれ？オヌシを送ると同時におそらくイレギュラーと一緒に入り込むはずじゃ。オヌシにはそれを駆除してもらっことにもなる」

「了解さ。転生させてもらっんだ。そんなくらいの事くらい遣らせてもらっよ」

「そうかの。では送らせてもらおうかの」

「ん。色々ありがとう神様」

「……オヌシ幸あらんことを」

神様は俺に能力をくれた時とは違う、言葉で俺をあいえすの世界へと送り出してくれた。……コレから色々大変かもな……でも第二の人生だおもいっきたのしむさッ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3764ba/>

I S 転生者の軌跡

2012年1月9日21時59分発行